

来年度の取組について

1. 教材関係

- 教材を確実に6月に送付できるよう、入札手続に必要な作業を可能な限り前倒す等の対応をとる。
- 厚生労働省 HP に『薬害を学ぼう』の一部を抜粋した教材を掲載した旨、教材送付に合わせて周知を行う。
- 教員等の負担軽減のため、アンケートの項目を簡素化する等の対応を検討する。

2. 実践事例の周知について

- 本年度に実施された授業を踏まえて、実践事例集に授業例を追加する。
- アンケートによれば、教員の授業準備に対する負担感が小さくないと思われることから、より取組み易さを感じさせる活用例を記載できないか検討する。

3. 薬害の歴史展示室について

- 3月下旬開設予定の薬害の歴史展示室について、修学旅行や社会科見学等の訪問先として検討してもらうことを目指した検討を行う。
- 薬害の歴史展示室の今後の運営の在り方について、開設後の状況を踏まえ、本検討会で議論を行う。

4. 薬害資料の収集について

- 被害者の高齢化に伴い、研究班又は協力いただいている人権博物館において資料管理を行うことを希望する者が今後増加することが見込まれる。このため、個人・団体から寄託等を受ける際のルール（受け入れる資料の種類や受け入れた資料に重複がある場合等）について、当事者団体と協議した上で、今後、整理を行う。